

2014年12月25日

能勢電鉄株式会社

鉄道線ホーム駅名看板の意匠変更について（お知らせ）

能勢電鉄では、このたび鉄道線の各駅駅名看板について、駅ごとに各駅を象徴的に表すイラストを用いた意匠に一新しましたのでお知らせします。

詳細はつぎのとおりです。

主な内容

（1）対象物件

ホーム駅名看板

（2）意匠

里山などの自然あふれる沿線風景をモチーフとした緑色を基調とした意匠



－ イメージ －

（3）その他

各駅の看板の詳細は別紙をご参照願います。

駅名看板イラスト説明

駅名	駅名看板	イラストの説明
川西能勢口 Kawanishi-noseguchi かわにし のせぐち		里山（能勢）への玄関口で、北極星（能勢妙見山）へ向かう線路をイメージしました。 ※能勢妙見山は北極星信仰の開運北辰妙見大菩薩を祀っています。
絹延橋 Kinunobebashi きぬのべばし		昔は機織・多色染めの布を付近の猪名川に流して水洗し、河原に絹を延べて干したことから、川に布がなびている様子をイメージしました。
滝山 Takiyama たきやま		駅名のもとになった旧滝山村の地名から、滝のある山をイメージしました。
鶯の森 Uguisunomori うぐいすのもり		昔は付近一帯が、野鳥が飛び交う深い木立に覆われていて、鶯のさえずりが人々を楽しませていたことから、野鳥がたくさん飛んでいる森山の枝にとまり、さえずる鶯をイメージしました。
鼓滝 Tsuzumigataki つづみがたき		昔はこの付近に猪名川に落下する滝があり、岩肌にあたって鼓のような音をたてていたことから、川に浮かぶ鼓をイメージしました。
多田 Tada ただ		源氏発祥の地にある多田神社の拝殿、武将のシルエットをイメージしました。

駅名看板イラスト説明

駅名	駅名看板	イラストの説明
平野 Hirano ひらの		付近を流れる塩川から湧き出る鉱泉は平野水として販売され、のちに香料と甘味料を加えた「三ツ矢印の平野シャンペンサイダー」として売り出されたことから、炭酸水が湧き出る様子と当時の面影を残す三ツ矢記念塔をイメージしました。
一の鳥居 Ichinotorii いちのとりい		大阪方面から能勢妙見山詣の参道の入り口にあたり、一番最初の鳥居があったことから、参詣者が妙見山を仰ぎスタートする様子をイメージしました。
畦野 Uneno うねの		畦野駅の近くにあるあじさい寺として有名な頼光寺とあじさいをイメージしました。
山下 Yamashita やました		付近は戦国時代より多田銀銅山の製錬で栄えた町で、能勢電鉄が開業したことにより人や物が集まり、銀行や証券会社、ダンスホール、芝居小屋、カフェ、ビリヤード場などが立ち並ぶ華やかな町であったことから、往時を偲ばせる川西市郷土館と製錬所をイメージしました。
笹部 sasabe ささべ		自然豊かな田園風景（田畑や茅葺の屋根）をイメージしました。
光風台 Kofudai こうふうだい		駅名から光と風をイメージしました。

駅名看板イラスト説明

駅名	駅名看板	イラストの説明
ときわ台 Tokiwadai ときわだい		ときわ台住宅地名の由来である常盤御前のシルエットと桜で有名な吉川峠の桜をイメージしました。
妙見口 Myokenguchi みょうけんぐち		日本一の里山といわれている妙見山の麓のパッチワーク景観のある里山をイメージしました。 ※今でも炭を生産し、利用されている里山の特徴としてパッチワーク景観があります。
日生中央 Nissei-chuo にっせいちゅうおう		桜で有名な猪名川町の原から広根にかけての桜並木をイメージしました。